

整備事業評価書

県名	政策目的	事業実施地区数 ア	評価対象外地区数 イ	評価対象地区数 アイ	成果目標の平均達成率	都道府県が事業実施主体へ改善指導を必要とした地区数	地方農政局等から都道府県計画の改善指導の必要の有無	都道府県による総合所見	地方農政局等による総合所見
島根	産地競争力の強化	1	0	1	73.3%	1	有	<p>県平均達成率は未達成となった。</p> <p>未達成となった主な要因は、乳量の増産であることから、事業実施主体と牛群改良も含めた改善方策の検討を行うとともに、関係機関と連携し、乳牛の能力を最大限に発揮できる群管理及び個体管理等、飼養管理の改善について指導を継続して行う。</p>	<p>評価対象となる1地区について、成果目標の平均達成率は73.3%となっており、未達成であった。</p> <p>未達要因は、1頭あたり生乳量の伸び悩み等と思われる。</p> <p>達成できなかった目標については継続的な改善措置を依頼する。</p>
広島	産地競争力の強化	1	0	1	50.0%	1	有	<p>ウインドレス鶏舎の整備により飼料要求率の目標は達成したが、生産コスト削減の目標は未達成となった。</p> <p>未達成となった主な要因は、配合飼料価格の上昇及び家畜購入費や堆肥処理費用の増加であることから、引き続き飼料要求率の向上や飼養管理の徹底及び堆肥の利用拡大等による生産コストの削減を図るなど目標達成に向けた指導を行う。</p>	<p>評価対象となる1地区について、成果目標の平均達成率は50.0%となっており、未達成であった。</p> <p>未達要因は、配合飼料価格の上昇及び家畜購入費等の増加と思われる。</p> <p>達成できなかった目標については継続的な改善措置を依頼する。</p>

県名	政策目的	事業実施地区数 ア	評価対象外地区数 イ	評価対象地区数 ア－イ	成果目標の平均達成率	都道府県が事業実施主体へ改善指導を必要とした地区数	地方農政局等から都道府県計画の改善指導の必要の有無	都道府県による総合所見	地方農政局等による総合所見
広島	食品流通の合理化	1	0	1	0%	1	有	<p>食肉関連施設（小動物用自動背割機）の整備による、物流の迅速化と物流コストの軽減の目標は未達成となった。</p> <p>未達成となった主な原因は、自動背割機の動作の不具合や作業ロスが生じたためであることから、引き続き改善に努め、作業時間の短縮や、省人化及びLED照明の導入の検討等による省エネによる物流コストの削減を図るなど、目標達成に向けた指導を行う。</p>	<p>評価対象となる1地区について、成果目標の平均達成率は0%となっており、未達成であった。</p> <p>未達要因は、自動背割機の動作の不具合等によるものと思われる。</p> <p>達成できなかった目標については継続的な改善措置を依頼する。</p>
山口	産地競争力の強化	1	0	1	50.0%	1	有	<p>牛乳容器の改良により牛乳の販売量が増加し、加工処理施設仕向割合は目標を達成した。</p> <p>一方、生乳生産額については、出荷戸数の減少等により目標未達となった。</p> <p>このため、酪農家の手取り乳価を増加させ、酪農経営の継続を図るためには、乳質改善による乳価向上や自給飼料増産による飼料コスト削減の取組が必要であり、県としても、牛群検定を活用した乳質の状態把握や改善指導に加え、耕畜連携による自給飼料増産の取組を支援す</p>	<p>評価対象となる1地区について、成果目標の平均達成率は50.0%となっており、未達成であった。</p> <p>未達要因は、出荷戸数の減少等によるものと思われる。</p> <p>達成できなかった目標については継続的な改善措置を依頼する。</p>
徳島	産地競争力の強化	1	0	1	100.0%	0	無	<p>県平均達成率は達成となった。</p> <p>しかし、全出荷量及び上位規格品数量が目標数を下回ったことから、引き続き、生産の安定化に向けて、指導を行う。</p>	<p>評価対象となる1地区について、成果目標の平均達成率は100.0%となっており、達成であった。</p>

県名	政策目的	事業実施地区数 ア	評価対象外地区数 イ	評価対象地区数 ア-イ	成果目標の平均達成率	都道府県が事業実施主体へ改善指導を必要とした地区数	地方農政局等から都道府県計画の改善指導の必要の有無	都道府県による総合所見	地方農政局等による総合所見
愛媛	産地競争力の強化	2	0	2	62.7%	1	有	<p>共同利用畜舎の整備は目標を達成したが、柑橘選果場の機械整備については目標未達成となり、県平均達成率は未達成となった。</p> <p>柑橘選果場については、「甘平」の裂果と、「愛果28号」及び「せとか」の長雨による品質低下が課題であるため、研究機関と普及組織と連携して課題解決に向けた技術開発や適切な栽培管理、改植、早期成園化の指導を徹底する。</p> <p>また、共同利用畜舎については目標達成はしているものの、施設利用率が70%未満であることから、今後も引き続き哺育育成時の事故率の発生を抑制し、衛生管理の指導を行う等、預託機能の向上のための指導を行う。</p> <p>改善指導が必要な事業については、今後も関係機関と連携し、成果目標達成に向けて問題の見直し・改善を行う。</p>	<p>評価対象となる2地区について、成果目標の平均達成率は62.7%となっており、未達成であった。</p> <p>未達要因は、気象の影響による果実品質の低下によるものと思われる。</p> <p>達成できなかった目標については継続的な改善措置を依頼する。</p>
高知	産地競争力の強化	1	0	1	86.1%	1	有	<p>事業に即した取組みはできているものの、県平均達成率は未達成となった。</p> <p>未達成の主な要因は、作業員の栽培技術不足や経営安定のための出荷先の変更であることから、今後は農業振興センター等の関係機関が連携し、栽培管理技術者の育成に向けた支援を行う。</p>	<p>評価対象となる1地区について、成果目標の平均達成率は86.1%となっており、未達成であった。</p> <p>未達要因は、作業員の栽培技術不足等によるものと思われる。</p> <p>達成できなかった目標については継続的な改善措置を依頼する。</p>